

局長 補正予算説明

森ともお（民進・熱田区）： 名古屋城 石垣調査 1 ページ

調査について、マスコミ報道 どこまでが事実か

天守閣部会 石垣部会 若干の意思疎通がっていない

そのところに対する認識は？

渡辺主幹：部会 ご議論いただいている

意思疎通を図りながら事業を進めていけるように考えている

森ともお（民進・熱田区）：やり取りの中で、意思疎通を図って

いきたいというのは理解

今後進めていけるのか疑問

やり取りのどの部分で誤解が生じているのか？

解決をしていくのか もしあれば

渡辺主幹：全体整備検討会議で石垣部会、天守閣部会で議論してきた中で

ご報告を兼ねて

発言についてお話しがあった

ご意見を頂いた

今後とも当局として調整を図りながら予算を承認いただけたら

調査を進めて行けたらと思っている

浅井正仁（自民・中川区）：合同部会を拝聴した

どの先生か忘れた 素晴らしい意見を言われた先生がいた

4つの合同部会を開いて

天守閣部会座長が少し意見の相違 意思の相違かわからないが、

「解散」という見出しまで

11月中に回答を出すことになっていた

名古屋市は回答を出したのか

渡辺主幹：回答を出した

浅井正仁（自民・中川区）：その返答は来たのか

渡辺主幹：返答は来ていない

浅井正仁（自民・中川区）：いつまでに返答がもらえる予定か

渡辺主幹：いつまでに回答、とお話しいただいているわけではない

浅井正仁（自民・中川区）：ずっと回答を待っていたら影響はあるのか

渡辺主幹：できる限り回答を頂き、解決を図っていきたい

できる限り早期に回答をとっていきたい

浅井正仁（自民・中川区）：私は影響があるのか無いのか聞いた

渡辺主幹：影響が出てくる可能性がある

浅井正仁（自民・中川区）：影響が出るかもしれないということは、

いつまでに調整を行えばよいのか

西野所長：石垣調査については、現在史実の調査、石垣カルテとともに、

発掘調査を行ってきた。

発掘調査については石垣部会 座長を巡って

発掘調査が進まない

12 月中に解決する

予定のとおり進めていくつもり

浅井正仁（自民・中川区）：12 月中に調整をされるのがよいが

大相撲 揺れに揺れている

石垣部会 拒否をされたとき、どうされるおつもりか

西野所長：回答を致しましてから、石垣部会の人と協議をしている

ご指摘のとおりうまくいかなかったら、そうならないようにしっかりやっていく

もしそうなったら、文化庁と相談して適切な対応

浅井正仁（自民・中川区）：文化庁と相談 例えばどんな方法があるのか

渡辺主幹：文化庁に現状報告し、今後についての進め方を相談が専決

浅井正仁（自民・中川区）：どんな方法があるのか 具体的に

渡辺主幹：石垣専門家 石垣調査を進めていく 調査の経験 見ていただく

皆さま等に相談していく

浅井正仁（自民・中川区）：マスコミが言うように今の部会が解散されたとき、

例えば他の先生に頼むことはあり得るのか？

村木主幹：豊富な作業、実際の経験に精通

多くの方がいらっしゃるわけではない。

浅井正仁（自民・中川区）：人数も少ない。他に方法はあるのか？

西野所長：石垣部会の先生方と進めていく

もし出来なかった場合、他の専門家の方にお問い合わせするか？

答弁がありましたが、人数は多くないが、文化庁に相談しながらお願いできるか検討

浅井正仁（自民・中川区）：例えば学芸員の方とやるということは可能か？

西野所長：基本的には専門家と一緒に 文化庁と相談する

浅井正仁（自民・中川区）：名古屋市として、石垣部会と天守閣部会 調整いただきたい

石垣調査をしている

この調査は年度内に終わるという認識か？

渡辺主幹：今の調査は年度内に終わる予定

浅井正仁（自民・中川区）：マスコミ報道 入場規制をするといって

そろそろその時期 入場制限か入場禁止か

課長：木造復元によって

工事の進捗で入場禁止

浅井正仁（自民・中川区）：入場禁止 いつ頃からか 予定は

渡辺主幹：入場禁止 石垣詳細調査 今回の予算をお認めにいただければ

地下の石垣を触ることになる

時期は文化庁と調整し、来年の春

北野よしはる（自民・守山区）：入場禁止 大きな話

旅行者、市民の方 きちっと早く 年も明ける

具体的におっしゃっていただいた方がよい

渡辺主幹：入場禁止する場合 周知する期間が必要

約6ヶ月程度必要ではないか

来年の春ぐらい 一定の調査を踏まえ、ゴールデンウィーク明けくらいになるのでは？

北野よしはる（自民・守山区）：5月上旬か下旬か6月か はっきりしない

大切な話し 責任を持って所長から日時を

西野所長：入場禁止の時期 予算を認めていただけ、調査

根石、背面調査 入口部分を閉鎖しないといけない

できるだけ早めにやっていきたい

できるだけ早く 5/7を目途

北野よしはる（自民・守山区）：5/7から入場禁止

文化庁の許可が取れない、遅れた場合、変更される場合はあるのか？

西野所長：予算をお認めになった場合、速やかに旅行者との関係

日程を決定し

今後これを変える 影響が大きい

決めたら変更することはない

北野よしはる（自民・守山区）：変更の予定はない

問題になってくるのは当局と市長との意見調整

市長と調整ついているのか

西野所長：市長とよく相談してきた

北野よしはる（自民・守山区）：わかりました

浅井正仁（自民・中川区）：入場禁止中、天守閣はない

見るところはなくなる それでよいか

渡辺主幹：天守閣自体には入場禁止

他、本丸御殿、施設

浅井正仁（自民・中川区）：天守閣がなくて、本丸がある

500 円の入場料 いくら値引きしてもらえるのか？

館主幹：現在の考え方 6 月から本丸御殿全体公開

魅力向上 現時点では閉鎖期間中 500 円を割り引き・値下げは考えていない

浅井正仁（自民・中川区）：名古屋城と言えば天守閣

市内以外遠方 天守閣を見に来るのがほとんど

旅行者 周知する 一般の地方の人 周知しない

名古屋に来たが名古屋城は見れない 非常に残念がると思う

入場禁止半年間は割引・記念品をあげるなどサービスは？

館主幹：天守閣の木造復元

現時点で本丸御殿復元 第 1 期、第 2 期 非常に好評 入場者数の伸びにつながる

本丸御殿にも来ている

全体公開をすれば多くの人に喜んでもらえると思っている

閉鎖期間中、天守閣を閉鎖していることを知らない方もいると思うがご理解いただきたい

浅井正仁（自民・中川区）：天守閣を見に来た人はどうやって満足するのか

管理課長：天守閣は目玉の施設

中には入れないが、外から眺める 工事が始まれば素屋根、その中の様子を見学を検討

本丸御殿、二の丸庭園 魅力の維持を図る

名古屋城を楽しんでいただけたら

浅井正仁（自民・中川区）：しっかりと周知を

石垣調査 どんな工程でやるのか、いつまで取り壊しか、資料を要求

渡辺主幹：工程等資料を出したい

西川ひさし（自民・昭和区）：石垣調査

きちっとした 何を調査するのか、何を指すのか

名古屋市が考える「天守閣はどういうものか」

何を目的するのか

史実に忠実なもの この国の宝

根底にあったと思う

わかりやすく 目指すもの

資料館、博物館を持ち合わせるのか

どういう目的のものか？

西野所長：名古屋城天守閣・本丸御殿もそう

太平洋戦争まで江戸時代のものが残っていた 戦争で焼けた

天守閣は鉄筋コンクリートで再建した いつまでも持つものではない

名古屋というのは城下町

名古屋城を中心に発展した

市民の心の中でバックボーンをなすもの

江戸時代のもをそのまま再現する

昭和実測図 金城恩顧録 豊富 正確に復元可能

そういうものを目指す

当然要素として天守閣の下にある天守台という石垣

加藤清正が作った

焼けたもの、残っているもの 貴重

大事に保存しながら天守台石垣として後世に残す

健全に保全しながら木造天守を史実に忠実に作っていく

子ども達に感じてもらおう

石垣、堀 お城そのものを見ていただきたい

博物館という形ではなく、お城そのものを

西川ひさし（自民・昭和区）：そうですね そのための石垣調査ですよ

資料で文字に起こして

活きた資料が残っている

ぶれてばかりではいけない

まとめていただいて

西野所長：資料にまとめて提出する

手塚将之（減税・千種区）：スケジュールの関係

穴蔵の申請 文化庁に申請

別に申請が必要か？

渡辺主幹：穴蔵部分調査 別で現状変更許可が必要だと思っている

手塚将之（減税・千種区）：いつぐらいを考えているのか？

渡辺主幹：穴蔵部分かつ根石、背面 石垣を触る際は申請が必要

申請は5月の約数ヶ月前に出す

手塚将之（減税・千種区）：石垣部会の意見を付随して

西野所長 意思の疎通がいかなかった 傍聴した

今の方と関係修復して前に進めるつもりか？

渡辺主幹：今の方と進めていきたい

藤井ひろき（共産・中村区）：石垣調査が中断しているという報道

補正予算

渡辺主幹：今後石垣詳細調査 議論を進めていけるように

時間的なもの できるだけ早めに協議をしたい

藤井ひろき（共産・中村区）：報道を聞いてびっくり 再開をめどがたっていない  
経緯を教えて

渡辺主幹：第24回全体整備検討会議 合同部会 石垣・天守閣部会  
石垣調査 ご議論いただいた

その中で建築の専門家の方から石垣部会の安全性について  
会議が紛糾したということがあった

発掘調査等は10月から開始 石垣部会から指導

合同部会のご議論があった 石垣調査 現場を見てもらう

今後そういった中で現場を見ていただけないのか？

調査を進めてきた

議会が紛糾した 紛糾したところを解決、方向性を出していく

当局として会議を進む

紛糾した 第24回会議

今後調査を見ていただく 1件について解決して、中身を見てはどうか

発掘調査をご指導いただいてから 今日に至る

藤井ひろき（共産・中村区）：部会が紛糾するのは初めてではない

以前も紛糾して市長がコメントした

渡辺主幹：会議の中 今回が初めて

藤井ひろき（共産・中村区）：第24回資料 市長コメント

資料要求したいが

渡辺主幹：市長コメント 用意する

藤井ひろき（共産・中村区）：石垣調査 概要を見たら、平成30年度末まで債務負担行為

当初スケジュール 平成30年7月まで

渡辺主幹：当初の予定 平成30年7月 調査終了と記載した

いろんな調査をやっていく中で、文献で調べていかないと

資料を検討しないと

大方の作業は7月 終わっていく

その他もある可能性 平成30年度末まで

藤井ひろき（共産・中村区）：文献調査で平成30年度末まで

渡辺主幹：大枠は平成30年7月8日末までと思っている

藤井ひろき（共産・中村区）：石垣調査 現在と今後のスケジュール

渡辺主幹：資料を出す

藤井ひろき（共産・中村区）：調査の報告ができるのはいつか

村木主幹：調査の報告は今年度概要報告をまとめようとしている

正式なのは来年度の早い時期を

藤井ひろき（共産・中村区）：具体的にはいつか

村木主幹：来年度前半

藤井ひろき（共産・中川区）：3月中か

村木主幹：年度内を目標か

藤井ひろき（共産・中川区）：学芸員の体制は

村木主幹：学芸員3人＋管理部門3人

藤井ひろき（共産・中川区）：計6名 石垣に全員関わるのか

村木主幹：天守閣3人＋管理部門

藤井ひろき（共産・中川区）：天守閣3人とあと何人か

村木主幹：管理部門1人

藤井ひろき（共産・中川区）：合計4人が携わるでよいか

村木主幹：そう

江上博之（共産・中川区）：石垣調査を行う

中断しているとは一言も聞いていない

現況がどうなっているのか

6月議会予算

昨日になってはじめてマスコミ報道で知った

なぜ報告しなかったか

渡辺主幹：石垣基礎調査 発掘掘削作業 特化している

その部分を見合わせている

調査全てが止まっているわけではない

江上博之（共産・中川区）：補正予算が通ったらすぐできるのか

渡辺主幹：協議していく内容があるが、基本的にはやれる調査はやれる

江上博之（共産・中川区）：調査について、学芸員

専門家の指導がなければ出来ないと言っていた

専門家が納得していない

天守閣部会の関係は納得していないが、市の調査は納得しているのか？

渡辺主幹：レーダー調査など 提示している

この内容 予算審議をお願いしている

それについては出来る

江上博之（共産・中川区）：10月13日にことがおきた

9月了解

渡辺主幹：開くスパンがある

9月大方認められた

その間調査自体 しかるべきときに石垣部会に報告・現地を見てもらう

我々としては10月のこともあるが、早く議論を進めていけるとやっていきたい

江上博之（共産・中川区）：「進めていきたい」

補正予算を認めるということは、「進めていける」という確信があってから

西野所長：現在の基礎調査 提案の詳細調査

9月の石垣部会で承認いただいた

石垣部会の先生 現地に入っていてご指導いただいた

順調に進めていった

10/13 会議 座長の発言 石垣部会から問題があると指摘

こういう状態では石垣部会に出席できない

ご指導いただいてきたが、新たなご指導いただく分は見合わせている

遅くとも12月末までには解決し、ご指導いただきたい

江上博之（共産・中川区）：現時点では補正予算が認められても、調査が進まない

12月中 なんとかしますからよろしく、ということか

西野所長：現地を触る調査はご指導いただく

レーダー調査などは計画 石垣部会が機能するならご相談する

江上博之（共産・中川区）：専門家の指導は現時点では受けられない

結果は概要今年度 詳細は来年度早々

12月中 OK めどが立っていない

めどがないのに予定がでるのか

西野所長：12月中に問題を解決する 基礎調査

江上博之（共産・中川区）：現時点ではめどは無理

12月中に専門家の了解が取ればよいという前提

西野所長：そのとおり

江上博之（共産・中川区）：10/13 何が問題になったのか

はっきりさせないといけない

時間的にいうと2時半 4時過ぎまでは順調

石垣部会「現況だけでなく、あるべき石垣の上に天守台がないといけない」

天守閣部会「石垣に負担がかからない」

石垣部会「内面石垣が重要」

天守閣部会「スケジュールがこんでいる」

座長「石垣部会は安全性を考えていない」

石垣部会3人全員が怒り狂って「撤回せよ」

座長「撤回しない 安全性が問題が」

そう簡単に12月中に易々と撤回するとは思えない

西野所長：10/13 会議の場で座長の発言に対して撤回を求める 会議の場であった

紛糾したのは事実

このときの会議 発言が問題があったと指摘

「解決するまで部会に出席できない」  
一定の回答をしながらお話ししている  
その中で解決したい

江上博之（共産・中川区）：出席できないどころか「石垣部会 解散だ」  
それだけの思い きちっとやっていく必要がある

市長コメント 8月 どういう経緯ででて、どういう内容か

渡辺主幹：8月内容

江上博之（共産・中川区）：コメントそのものは資料要求した  
なぜ出すことになったのか

渡辺主幹：記憶の中で話す

会議が終わった後、座長に報道等あったとき、

西野所長：8月1日 現場視察 石垣部会の先生方と話し

市長が報告を受け、市長も「石垣を大事にして」伝えて

江上博之（共産・中川区）：それは事実と異なる

5月、6月に混乱してから

8月1日

西野所長：今言ったとおり

江上博之（共産・中川区）：スケジュール

天守閣部会：スケジュール

石垣部会：まずは石垣

私は反対だが、認めた人でも、研究者の意見を聞かないと

石垣部会が納得しても私が納得しない

何のための調査か

来年の7月まで→年度末まで

中身が当初の石垣調査が違ってきたのではないか

渡辺主幹：石垣詳細調査 熊本地震を受け、石垣の安定性

中身については案 部会の方とご議論して9月にご了承いただいた

江上博之（共産・中川区）：熊本地震

耐震性 地下一階 木造化するにしても、枠組み

石垣に触れる可能性がある

調査の必要性が出てくると言うことか

渡辺主幹：現状の穴蔵石垣がどうなのかを把握するため

江上博之（共産・中川区）：触れる可能性がある調査も含めてか

渡辺主幹：触れるというよりは、今の現状を把握するため 材料を集める

江上博之（共産・中川区）：最新の工程表

負荷は石垣に触れない

天守閣完成してから

来年7月→年度末

平成31年10月 天守閣を壊しながら

今回の調査に含むのか？

渡辺主幹：取り壊して終わった後、調査が必要なら調査が必要

現状としては地下階の建物を持たせるため 別途協議

江上博之（共産・中川区）：平成30年7月まで 平成31年10月 別か

穴蔵部分根石など

取り壊し調査 平成31年度調査は状況を踏まえて部会と相談して必要なら

江上博之（共産・中川区）：今回の調査

スケジュール 2022年12月まで 工程表に対してスケジュール

中川貴元（自民・東区）：石垣部会の解散云々 状況によっては

調査スケジュールが若干・大幅 変わる可能性は否めないのか

西野所長：機能しなくなった場合、スケジュールを改めて検討

中川貴元（自民・東区）：補正予算期間 いつからいつまでか

渡辺主幹：速やかに契約 調査期間は平成31年3月まで

中川貴元（自民・東区）：いつからいつですか

渡辺主幹：今年度1月～来年度3月まで

中川貴元（自民・東区）：1月上旬を意味するのか

渡辺主幹：速やかに契約 12月末か1月か

調査は1月から入っていきたい

中川貴元（自民・東区）：約1年2ヶ月かけて調査をするのか

渡辺主幹：調査の内容については詳細調査 測量・、、、

中川貴元（自民・東区）：そんなことは聞いていない

渡辺主幹：1年2ヶ月くらい

中川貴元（自民・東区）：少なくとも12月末までには石垣部会の存続を含め、

天守閣部会との和解が必要という理解か

西野所長：ご指摘のとおり

中川貴元（自民・東区）：和解に向け、当局はどういうスケジュール感

手法は？

西野所長：名古屋市としては一定の答えはした

個別にお会いしてご協議 12月中旬までにはしっかり動いて

中川貴元（自民・東区）：協議が整わなくても出来る部分

協議が整わないと出来ない部分 2つあるか

西野所長：その通り

中川貴元（自民・東区）：整わなくても出来る部分 何ヶ月分が可能か

渡辺主幹：7月～8月まで 進めていける

中川貴元（自民・東区）：和解の協議が整わなくても、7月～8月まではこの予算で  
聞いとった？

西野所長：根石調査 来年ゴールデンウィーク明けには進めたい  
進めるには

中川貴元（自民・東区）：入場禁止 5/7

少なくともそれまではこの調査ができるという理解でよいのか

協議の和解 進まないといけないのはゴールデンウィーク明け

西野所長：根石・背面調査以外は進めていくことが出来る

根石・背面調査 文化庁許可を取るには2-3月に申請

申請するにはご指導いただかないとできない

中川貴元（自民・東区）：新しい石垣部会にするのか

適切な指導を受ける組織を作るのか

西野所長：ご指摘のとおり

中川貴元（自民・東区）：5/7 入場禁止予定

入場料も変わらない

あらためてお尋ね 天守閣 今のところ何年何ヶ月入場禁止になるか？

館主幹：平成30年5月～平成34年12月

4年7ヶ月

中川貴元（自民・東区）：入場禁止の期間 4年7ヶ月

新しいものを作り出す

せっかくおこしになられた皆さん がっかりされないように楽しんで帰って欲しい

せっかくの4年7ヶ月 名古屋城に対して興味を持ってもらえる方策

ニュー名古屋城 楽しみに出来るような方策を考えた方がよい

ただ見れないではなく、「待ち遠しいな」助走

盛り上げ策 何か考えていないか

西野所長：天守閣閉館の際の盛り上げ

大切な視点

まずこの間お客さんに喜んでいただくため

十分知恵が回っていない

隅櫓 臨時的に公開している より有効に見ていただけないか

二の丸庭園 何らかの工夫で見てもらえないか

民間事業者に委託してイベント

冬祭り 夜間、デジタルアート

新しい名古屋城の魅力

天守閣が建てる段 素屋根の下から見ていただく

建築について見ていただくことも検討

これからしっかり考えていく

中川貴元（自民・東区）：既存にあるものを見ていただく

例えば、お堀をもう少しお越し頂いた皆さんに降りたって上を歩いて頂く

インパクトがある盛り上げ策

4年7ヶ月 気運を高めて頂く

もう少しインパクト

勉強が出来る

お堀の活用

局長：所長申し上げたように、いろいろな指摘

お堀の活用 以前史実に忠実 舟が浮かんでいた

インパクトがあるイベント 事業になる

しかしながら文化庁のご指導が必要

史実に基づく検証 どこに船着き場があり、どこまで

史実に裏打ちできたもの 本物ではないか

少し時間を頂きながら

福田誠治（公明・南区）：石垣4面

全部史実に忠実にするのか

渡辺主幹：現在の状況をきちんと確認し、今後の石垣の安全性

どのようにするかを今後決めていく

福田誠治（公明・南区）：史実に忠実ではない面も出てくるのか

西野所長：基本は古くから残っていくものを健全に残していく

変えられたところを復元できるところは復元していく

安全性 どう対応できるか検討

福田誠治（公明・南区）：耐震が強度がない

新たに積んでもダメ 別な考え方

モルタル注入して耐震可能な施工方法をするのか

西野所長：特別史跡 史実に忠実が基本

その上で安全対策をどうとっていくのか 専門家の意見を聞きながら

福田誠治（公明・南区）：市民から見たら、表面的に史実に忠実なら問題が無い

熊本城 ほとんど新たに積んだところが地震で崩れている

昔の施工状況の資料はあるのか

渡辺主幹：宝暦に積み直しがあったとされている

一部資料が残されていると聞いている

福田誠治（公明・南区）：古い時代 人力でやっている

人力でやった方が崩れなかった

現状では崩れた

ただ積み直すだけでよいのか

渡辺主幹：まずは現状を把握するところから

資料調査

どういった形で保全していくのか

福田誠治（公明・南区）：座長 天守閣の土台 加重がかからない

ケーソン工法でやるのか 決まりなのか？

蜂谷主幹：ケーソン基礎を利用して荷重を支える予定

福田誠治（公明・南区）：天守閣と石垣は別物という捉え方か

蜂谷主幹：一体

福田誠治（公明・南区）：ケーソン基礎をどうするか決めてからではないか

蜂谷主幹：ケーソン基礎 基本設計 劣化度調査 継続して使用できるか

福田誠治（公明・南区）：石垣を先にやるのかケーソンを先にするのか

蜂谷主幹：あくまでも工程 要求水準で求める

天守閣の後石垣を積み直す

福田誠治（公明・南区）：天守閣を中心にする

森ともお（民進・熱田区）：観光文化交流局 文化庁とのやりとり

部会、文化庁との絡み

窓口はどなたになっているか

渡辺主幹：基本的には文化財保護室

名古屋城整備事務所としては私

森ともお（民進・熱田区）：教育委員会が窓口と言うことか

渡辺主幹：基本的にはそう

森ともお（民進・熱田区）：教育委員会と意思疎通

観光文化交流局としてどこまで交渉するかが大事

文化庁とのやり取り 資料で欲しい

渡辺主幹：主立ったものは資料で出す

森ともお（民進・熱田区）：今回補正予算

505億の中に3.5億は含まれるのか？

蜂谷主幹：あくまでの基本協定の外

竹中と協議して505億に含む

森ともお（民進・熱田区）：財源フレーム 石垣調査は見込んでいない

今の場になって調査費がつく  
圧縮する  
あらためて確認した